

令和8年2月27日(金) 令和7年度 第11号



さいたま市立泰平中学校

学校だより

さいたま市北区本郷1991 電話：048(651)4134

【教育目標】

豊かな心を持ち実践力のある生徒の育成

【目指す学校像】

季節の花と明るい挨拶にあふれ、
生徒一人一人に夢と生きる力を培う学校

— 大好きTAIHEI —

「一文字」

校長 宮内 和典

朝晩はまだ冷えることが多いですが、日中はだいぶ暖かくなってきました。3月5日からは二十四節気の啓蟄（冬ごもりしていた地中の虫がはい出る意味）になり、いよいよ春を迎えます。今年度も最後の月を迎え、修了式や卒業式までのカウントダウンをより一層実感しています。

さて、3月はこの1年間の努力や成長を自覚し、次の成長への意欲を高めることが大切だと考えています。この1年間の自己の学びや歩みを振り返り、それぞれが今の環境に区切りをつけつつ、次のステージへの夢や希望、目標を抱き、自信を持って進級・進学できるように全職員で取り組んでいます。

御家庭でも、本年度のお子さんの1年間の学びを振り返り、認めて励ましていただければと思います。特に「できるようになったこと」や「頑張ったこと」の振り返りをしていただき、お子さんと共に成長を喜ぶ時間にしていただければ幸いです。その振り返りの時間がお子さんにとって、自分の良さを確かめる機会となり、次のステージへと進む後押しになると思います。また、振り返りの際には次のことを意識いただき、効果をさらに高めてもらえればと思います。

例えば、言葉はたった一文字で伝わり方が異なります。褒める時はどちらが良いと思いますか。

「それでいいんだよ」「それがいいんだよ」

では、「が」の方が良いと感じませんか。良さが強調され、相手の喜びも増すと思います。一方で、人を慰める時はどちらの方が良いと思いますか。

「あなたはよくやった。それで良かったよ」「あなたはよくやった。それが良かったよ」

の場合、慰めるという場面では「で」の方が優しい印象を受けると思います。正直、一文字に敏感になって言葉を発するということは、私も難しいと感じることが多々あります。しかし、この一文字を大人が意識し声かけすることで、子どもたちの心の成長を高めることができると思います。学校も、子どもたちが成長の歩みを進められるよう見守り、助言、励ましの声をかけていきたいと思っておりますので、御家庭でも御指導をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様には1年間、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、保護者の皆様からいただいた学校評価では、多くの項目で肯定的な評価をいただきありがとうございます。来年度も、さらに信頼される学校づくりを進めてまいりますので、次年度も変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願いいたします。